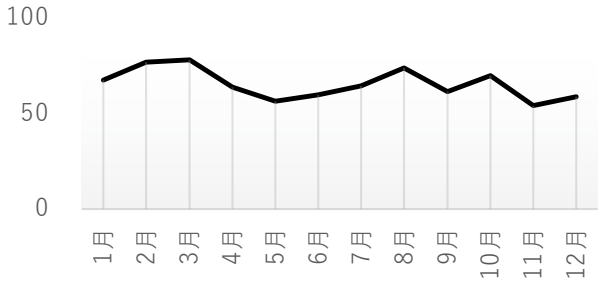
聖隷浜松病院

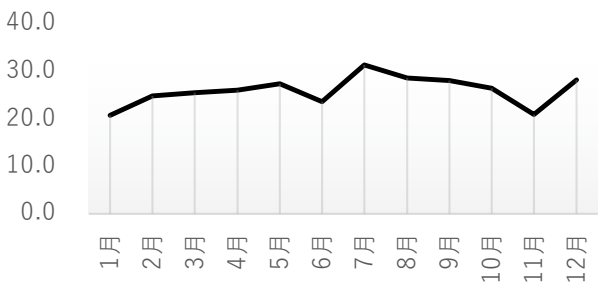
病床数	750床
常勤医師数	7名
指導医数	2名
非常勤医師数	0名
外来コメディカル	10名

診療実績			
	外来	入院	
	1日当たり外来患者数	入院日数	1日当たり入院患者数
1月	68	8	20.7
2月	77	7	24.8
3月	78	7	25.4
4月	64	8	26.0
5月	57	8	27.3
6月	60	9	23.6
7月	65	8	31.3
8月	74	7	28.5
9月	62	7	28.0
10月	70	8	26.4
11月	54	6	20.9
12月	59	8	28.2

1日当たり　外来患者数



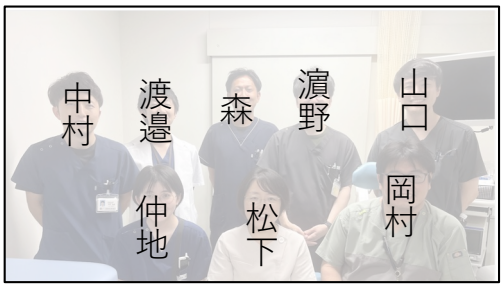
1日当たり　入院患者数



全身麻酔症例数	730 例

耳科手術		133	件
鼓室形成術		0	件
	慢性中耳炎	1	件
	真珠腫性中耳炎	0	件
鼓膜チューブ挿入術		56	件
人工内耳手術		0	件
アブミ骨手術		0	件
顔面神経減荷術		0	件
先天性耳瘻管摘出術		21	件
外耳道形成術		0	件
鼓膜形成術		0	件
乳突削開術		0	件
試験的鼓室開放術		0	件
中耳根本術		0	件
内リンパ嚢開放術		0	件
聴神経腫瘍摘出術		0	件
鼓膜切開術		56	件
鼻科手術		596	件
内視鏡下鼻・副鼻腔手術		183	件
鼻中隔矯正術		126	件
鼻甲介切除手術		196	件
視神経管開放術		1	件
涙嚢・鼻涙管手術		9	件
眼窩吹き抜け骨折手術		0	件
顎・顔面骨折整復術		27	件
鼻・副鼻腔良性腫瘍摘出術		15	件
鼻・副鼻腔悪性腫瘍摘出術		1	件
後鼻神経切断術		38	
口腔咽喉頭手術		525	件
扁桃摘出術	口蓋扁桃摘出	302	件
	アデノイド切除	107	件
舌、口腔、咽頭腫瘍摘出術		76	件
	口蓋垂・軟口蓋形成術	0	件
	舌・口腔良性腫瘍摘出術	11	件
	舌・口腔悪性腫瘍摘出術	36	件
	咽頭良性腫瘍摘出術	1	件
	咽頭悪性腫瘍摘出術	28	件
喉頭微細手術		7	件
嚥下・誤嚥防止、音声改善手術		32	件
	嚥下機能改善	4	件
	誤嚥防止	16	件
	音声機能改善	12	件
	(うち声帯ポリープ切除)	11	件
喉頭形成術		1	件
喉頭截開術		0	件
頭頸部手術		249	件
頚部郭清術		81	件
顎下腺	良性腫瘍	4	件
	悪性腫瘍	1	件
耳下腺	良性腫瘍	17	件
	悪性腫瘍	3	件
甲状腺	良性腫瘍	27	件
	Basedow病手術	9	件
	悪性腫瘍	36	件
喉頭	悪性腫瘍	1	件
リンパ節生検術		46	件
頸部嚢胞摘出術		23	件
顎下腺摘出術		1	件
食道異物摘出術		0	件
気管異物摘出術		0	件
異物摘出術（外耳・鼻腔・咽頭）		43	件
気管切開術		54	件
上皮小体過形成手術		6	件
深頸部膿瘍切開術		4	件
舌小帯延長術		1	件
唾石摘出術(経口法)		5	件
下口唇嚢胞摘出		5	件
舌下腺摘出		1	件









石田先生　玉腰先生
応援ありがとうございました。

歴代部長

①椎名睦郎　白石輝雄

②戸田行雄　佐久間惇

③

中島仁　　1989年～1991年

松井和夫　1991年～1995年

石田直人　1995年～1999年

林泰広　　2000年～2014年

袴田桂　　2014年～2018年

鈴木克佳　2018年

④岡村純　2018年～　現在

病院の歴史・コメント

①1969年～ 1983年　新潟大学派遣時代
1969年7月：新潟大学より椎名睦郎先生が着任され聖隷浜松病院耳鼻咽喉科が正式に開設される。その後も新潟大学耳鼻咽喉科学教室より医師が派遣されてきた。

②1984年 ～ 1988年　聖マリアンナ医科大学派遣時代
一時的に聖マリアンナ医大より戸田行雄先生、佐久間惇先生らが着任

③1989年 ～2018年　浜松医科大学関連病院化
1989年1月：昭和から平成への切り替わりと同時に、浜松医科大学の正式な関連病院へと移行。中島仁先生が初代浜松医大期の科長として着任。向高先生、木下先生の二人が赴任された。その後も多くの医局員が派遣され途中で林泰広先生の長期政権へ。県内トップの手術件数を維持し続け、小児専門の「こどもがいらい」頭頸部センターや耳センターの設立など聖隷横浜病院院長就任まで聖隷浜松病院の基礎を築いた。その後聖隷浜松病院勤務の袴田桂先生、鈴木克佳先生と部長が引き継がれた。

④2018年～　現在
お二人がご開業。2018年8月より岡村純が大学より着任し現在に至る。

鼻内内視鏡手術と頭頸部手術の手術件数の飛躍、診察室の増設による紹介患者数の大幅な増加、新しいエナジーデバイスを使用した扁桃摘出術、緊急症例の100％の迅速な受け入れ、PSG土日検査入院の開始、高気圧酸素療法の導入、夜の地域連携の強化、学会発表強化など毎年新しいことを始めております。
現在専門医5名（うち指導医2名）と後期研修医3名の体制で教育にも力を入れております。各専門医はそれぞれ得意とする専門領域があり、できるだけ専従できるようにしており、さらに後期研修医はそれぞれの上級医から診断と手術を含めた治療、各疾患について教育を受けることができます。新しいことは積極的に取り入れて、疑問点はそのままにせずに相談して解決の糸口を見つける姿勢を大事にしながら、今年も学会発表、学会参加に力を入れて大小20回以上の発表をすることができました。医師の働き方改革は医師の健康を守ることであることが一番の目的であることを心がけて日々頑張っておりますが、近隣の同門の先生方との**連携を強めるための夜のカンファレンス**も非常に大事にしておりますので、今後とも引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

学会発表			
発表日	学会名	筆頭演者	演題名
2025/1/30	第34回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会	千野帆夏	耳下腺腫瘍切除後欠損に対する遊離真皮脂肪片移植の経験
2025/1/30	第34回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会	渡邉尚喜	早期声門癌に対する根治的放射線後の救済手術症例の検討
2025/1/30	第34回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会	森泰樹	眼形成眼窩外科と合同で施行した涙嚢鼻腔吻合術(DCR)の2症例
2025/2/22	第57回 SENT会	渡邉尚喜	根治治療が行われなかった新規頭頸部癌症例の検討
2025/3/27	ビラフトビ・メクトビ甲状腺癌WEBセミナーin静岡	岡村純	当院における甲状腺癌に対するビラフトビ・メクトビの使用経験
2025/4/13	第134回日耳鼻静岡県地方部会学術講演会	森泰樹	当院で施行した内視鏡下鼻中隔手術4型の12例
2025/4/17	第5回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会	中嶋海帆子	扁桃炎に類似した経過を示した節性T濾胞ヘルパー細胞リンパ腫・血管免疫芽球型例
2025/5/17	第38回静岡耳鼻咽喉科手術手技研究会	渡邉尚喜	LigaSureを活用した甲状腺手術
2025/6/13	第49回日本頭頸部癌学会総会・学術講演会	渡邉尚喜	根治治療が行われなかった新規頭頸部癌症例の検討
2025/6/13	第49回日本頭頸部癌学会総会・学術講演会	佐々木彰之	当院で死亡退院となった頭頸部癌症例の検討
2025/6/19	第20回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会	松下安理華	気管切開術後または喉頭気管分離術後の長期経過中に特注カニューレが必要となった症例についての検討
2025/6/26	第87回耳鼻咽喉科臨床学会総会・学術講演会	藤本隆史	頸部に発生した異所性過誤腫性胸腺腫の一例
2025/7/5	第135回日耳鼻静岡県地方部会学術講演会	濵野一太	下咽頭原発の高分化型脂肪肉腫の1例
2025/7/5	第135回日耳鼻静岡県地方部会学術講演会	岡村純	医事問題委員会報告および全国アンケート調査結果報告
2025/8/30	第20回静岡県乳幼児難聴研究会講演会	松下安理華	当院における精査現状について
2025/9/25	第64回 日本鼻科学会 総会・学術講演会	森泰樹	当院で施行した内視鏡下鼻中隔手術 4型 12例の検討
2025/10/25	第136回日耳鼻静岡県地方部会学術講演会	岡村純	医事問題委員会全国アンケート調査結果報告　耳編
2025/10/25	第136回日耳鼻静岡県地方部会学術講演会	中嶋海帆子	甲状腺癌との鑑別が困難だった反回神経麻痺を伴った甲状腺結核の一例
2025/11/6	第76回日本気管食道科学会総会ならびに学術講演会	松下安理華	既製品カニューレ不適合となった気管切開症例の検討

原著論文（邦文）	題名	雑誌名	巻	号	Page
井上有美	喉頭蓋に生じた木村病の一例	喉頭	37	1	28-34

総説・解説	題名	雑誌名	巻	号	Page
岡村 純	【耳鼻咽喉科と薬の副作用-薬物副作用マニュアル-】耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域に現れる薬物副作用　菌交代症による真菌症(解説)	JOHNS	41	4	441-443